



放流中の宮ヶ瀬ダム



第 60 号



県更女連盟 創設六十五周年を迎えて

神奈川県更生保護女性連盟

会長 武田 容子

コロナ感染が始まった五年前、県更女連盟は六十周年の記念すべき年でしたが、感染拡大により自粛を余儀なくされ、前大会長の急逝により、記念式典は中止という決断にいたり、記念誌と記念品を配布させて頂いての六十周年となりました。

慌ただしい中、皆様方のお力沿えも心強く響き、何とか頑張つて活動を継続してきた結果、今年六十五周年を迎えることが出来ました。

これもひとえに会員各位の皆様方の多大なるご支援、ご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。

年月とともに、更生保護女性連盟も、変わりつつあります。会員の減少、地区会の存続の危機など様々な課題を抱えておりますが、今、この現在の一瞬一瞬を大切に活動が続けていきたいと考えます。

六十五周年という今を、それ

ぞれの地区活動に十分に生かしての活動をお願いいたします。

ブツダの教えの中に「過去も未来も、実体はない。ただ、今ここにある瞬間だけが、私たちに出来る全てだ」と。各地区の活動が、六十五周年にふさわしく、地区が、楽しく明るく元氣が出るような活動ができますよう、県連として助成させて頂きます。

やりたいこと、実現してください。笑顔のある会を作ってくださいましよう。

過去を悔やまず、未来を憂えず今というこの時に最善を尽くして会員の皆様方と手を取り合つて、この県更生保護女性連盟を支えていこうと思います。ひとりの力ではなく、会員の皆様全員の力を結集して六十五周年を輝かせましよう。

記念すべきこの年に巡りあわせた事に感謝いたします。

本年度も、どうぞよろしくお願いいたします。